
第2期
豊岡市地方創生総合戦略
第3版



2020 年度～2024 年度

2021 年 8 月

兵庫県 豊岡市

も く じ

I	人口予測と分析	1
1	人口予測（基準推計人口）	1
2	人口減少の要因	2
3	人口減少による地域への影響	3
II	豊岡市地方創生総合戦略	4
1	人口減少トレンドの緩和	4
	(1) 人口減少抑制対策の柱	4
	(2) 2040年の目標人口（人口ビジョンから）	5
2	住民基本台帳データによる人口移動分析	6
	(1) 自然減少・社会減少と傾向	6
	(2) 転入元・転出先	7
3	進行する人口減少下における地域活力の維持	8
4	人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持 （ローカル&グローバルの推進）	8
5	第2期豊岡市地方創生総合戦略の新たな視点	9
	(1) 多様性を受け入れるまちづくり	9
	ア 女性に選ばれるまち（ジェンダーギャップの解消）	9
	イ 外国人市民との共生推進	9
	(2) 深さをもった演劇のまちづくり	10
	(3) 芸術文化観光専門職大学との連携	10
6	第2期豊岡市地方創生総合戦略体系図	10
7	戦略の期間	12
8	戦略の進め方	12
9	第2期豊岡市地方創生総合戦略に基づく事業・指標	13

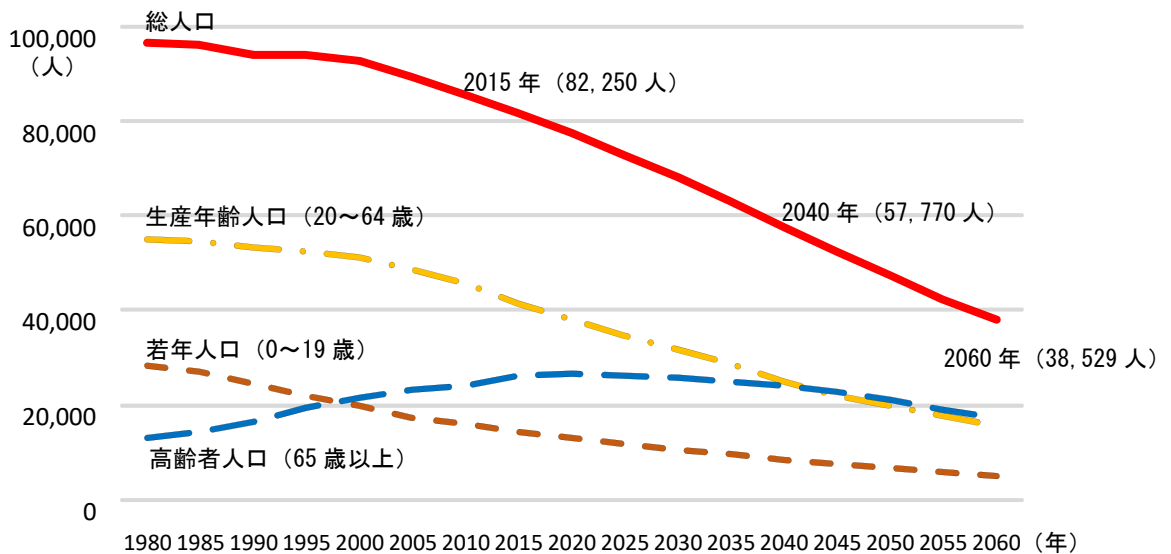
I 人口予測と分析

1 人口予測（基準推計人口）

豊岡市の人口は、今後減少のペースを加速し、2015年に82,250人であったものが2040年には57,770人（2060年には38,529人）になると推計されている（この推計人口を戦略の「基準推計人口」とする）。

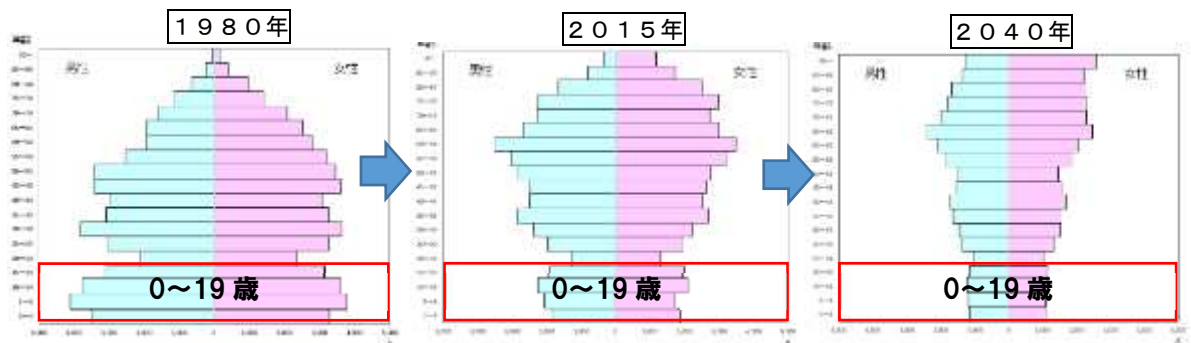
その減少率とりわけ0歳から19歳の若年人口で大きく、人口減少は今後さらなる少子・高齢化を伴いながら進み、2040年には、1人の高齢者を生産年齢人口1.0人（2060年には0.9人）で支える人口年齢構造になると予測されている（図1、図2）。

【図1】 総人口と年齢3区分別人口の推移（1980～2060年）



（出典：1980～2015年は総務省統計局「国勢調査」、2020年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供人口推計ワークシート（CD-ROM）により作成した独自推計）

【図2】 豊岡市の人口ピラミッドの推移（1980、2015、2040年）



（出典：国勢調査・2040年は市推計）

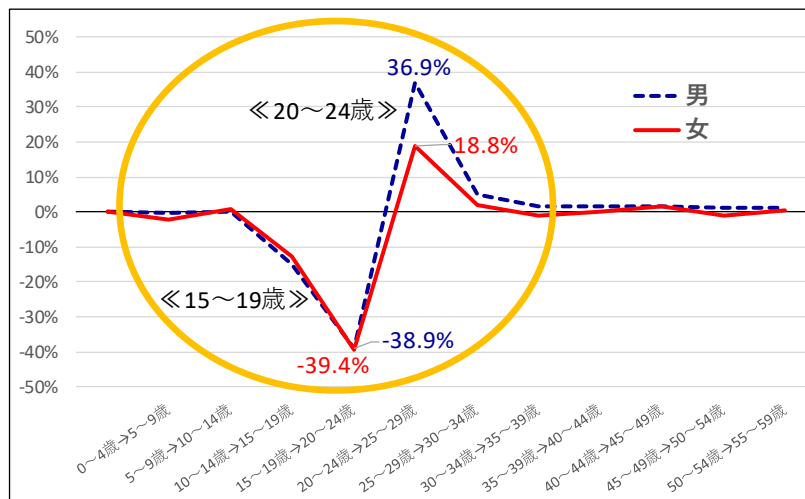
2 人口減少の要因

豊岡市の人口移動は、①ほとんどの年齢層で転入・転出の数がほぼ均衡しているのに対し、②高校卒業後の就職・進学期（15～19歳）に大きく転出超過が見られ、③逆に専門学校・大学卒業後の就職期（20～24歳）に大きな転入超過となっているが、④15～24歳のトータルとしては、大幅な転出超過となっている（図3）。

加えて、未婚率が上昇している（図4）ことから、出産適齢期の夫婦の数が減少して出生数が低下するとともに、その減少した子どもたちが成長して大学等に進む段階でまた転出超過になる、という悪循環にある。

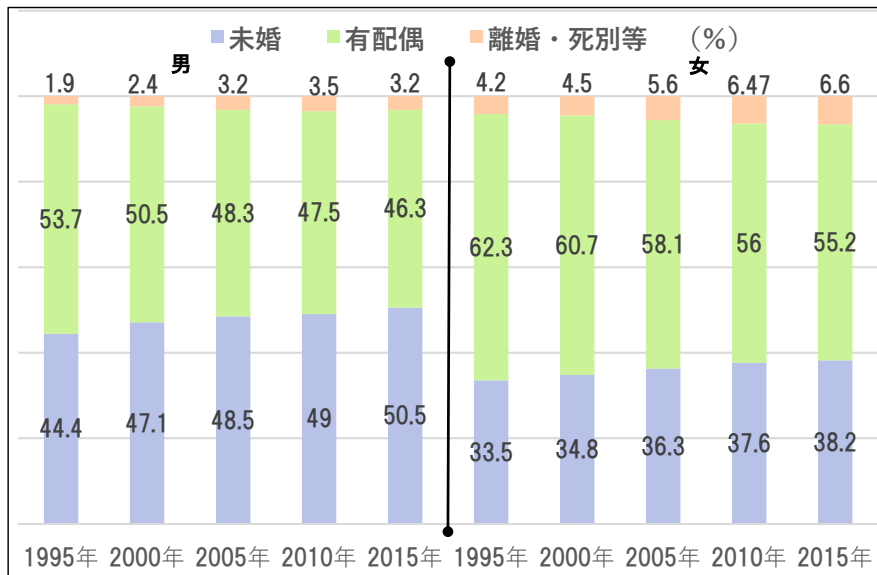
他方で、近年、有配偶者女性1人当たりからの出生数は減少していないと推定できる（図5）ことから、今後急速に進む豊岡市の人口減少の主な要因は、上述の若者の転出超過と未婚率の上昇にあると考えられる。

【図3】 年齢性別・純移動率（2010～2015年）



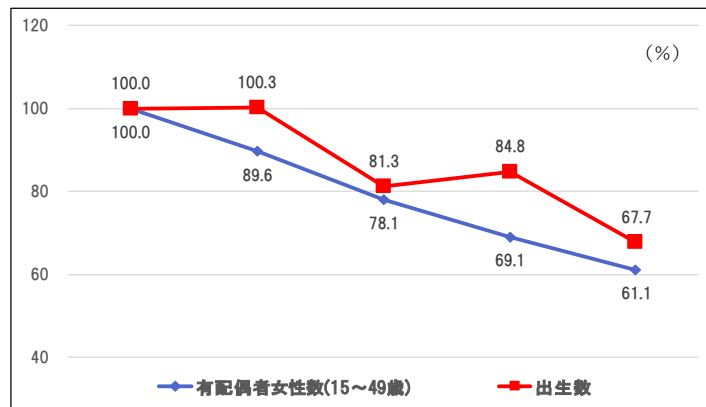
（出典：中嶋圭介氏（神戸市外国語大学准教授）の資料をもとに作成）

【図4】 男女別 未婚率・有配偶者率等の推移（15～49歳／1995～2015年）



（出典：国勢調査）

【図5】 有配偶者女性数（15～49歳）と出生数の推移



※1995年を起点
(100%)としたとき
の率で表示

有配偶者女性数の減少
率ほどには出生数は減少
していません。

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年
有配偶者女性数 (人) (15～49歳)	12,483	11,191	9,753	8,623	7,624
出生数(人)	900	903	732	763	609

(出典：国勢調査、兵
庫県統計課「兵庫県の
人口の動き」)

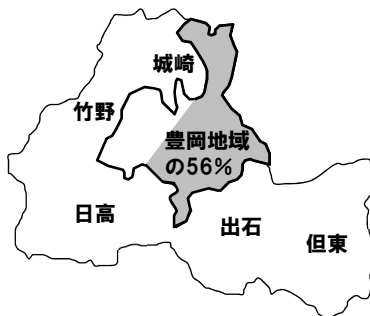
3 人口減少による地域への影響

2040年までの25,000人近い人口減少は、現在の「豊岡地域の56%」、「城崎・竹野・日高地域のすべて」又は「城崎・竹野・出石・但東地域と日高地域の13%」の人口が消滅する事態に匹敵する(図6)。

しかも、この人口減少はさらなる少子・高齢化を伴いながら進行することから、推計のとおり人口減少が進むとすると、豊岡市は、コミュニティの崩壊・消滅、公共交通網の崩壊、地域経済の衰退、財政悪化に伴う行政サービスの低下、医療・介護などの社会保障費の増大等、深刻な打撃を受けることが明らかである。

【図6】 人口減少の破壊カイメージ（灰色の地域に相当する人口が消滅する）

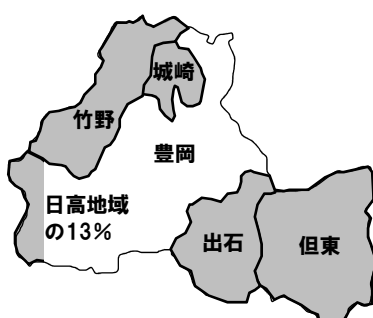
① 豊岡地域の56%が消滅



② 城崎・竹野・日高地域のすべてが消滅



③ 城崎・竹野・出石・但東地域と日高地域の13%が消滅



豊岡市の人口

地域名	人口
豊岡	43,375人
城崎	3,519人
竹野	4,496人
日高	16,609人
出石	9,996人
但東	4,255人
豊岡市計	82,250人

(出典：2015年国勢調査)

Ⅱ 豊岡市地方創生総合戦略

1 人口減少トレンドの緩和

(1) 人口減少抑制対策の柱

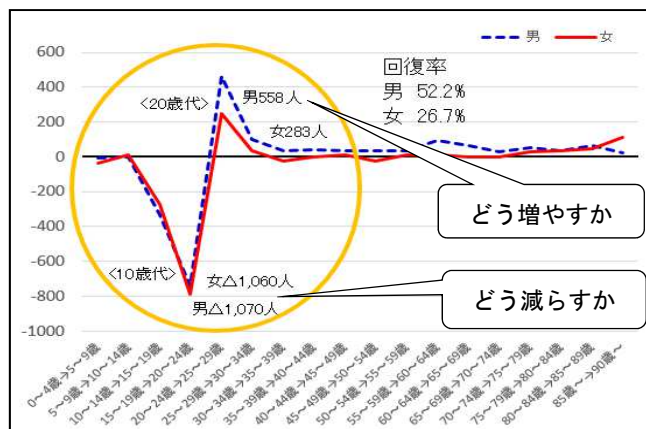
人口減少対策は、これまでも過疎対策等、様々になされてきた。しかしその多くは、人口減少を前提にした上でその悪影響にどう立ち向かうかという、いわば適応型の対策であった。

私たちは、今後予測される人口減少の圧倒的な量の破壊力を直視し、将来世代のために、何よりもまず人口減少の抑制を全力で図らなければならない（量的緩和）。

具体的には、前述の豊岡市における人口減少の要因分析に基づき、減少要因そのものに手を付けることとし、定住する若者、とりわけ本市での女性の若者回復率が男性に比べて低いことから、若い女性を増やすこと（図3-2、図3-3）と結婚する若者を増やすことを対策の柱に据えることとする。

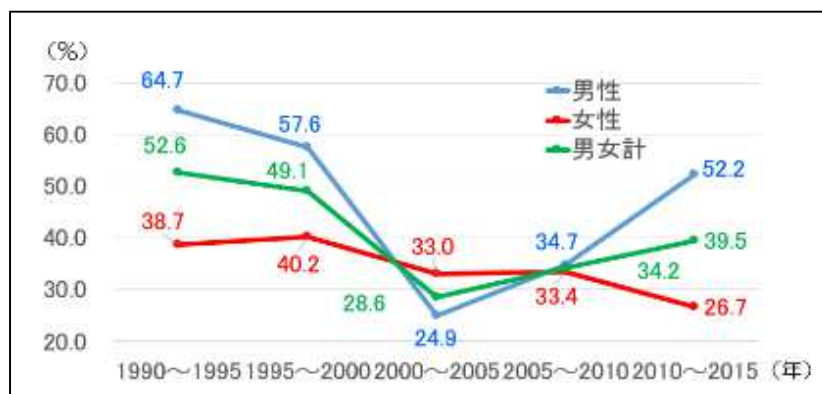
*若者回復率：10歳代の転出超過数に対して20歳代の転入超過数数が占める割合。

【図3-2】若者回復率（2010～2015年）



(出典：中嶋圭介氏（神戸市外国語大学准教授）の資料をもとに作成)

【図3-3】若者回復率の推移



(出典：国勢調査)

(2) 2040年の目標人口（人口ビジョンから）

人口減少の要因分析に基づき、達成可能性も考慮して、次のとおり量的緩和に関する目標を設定する。

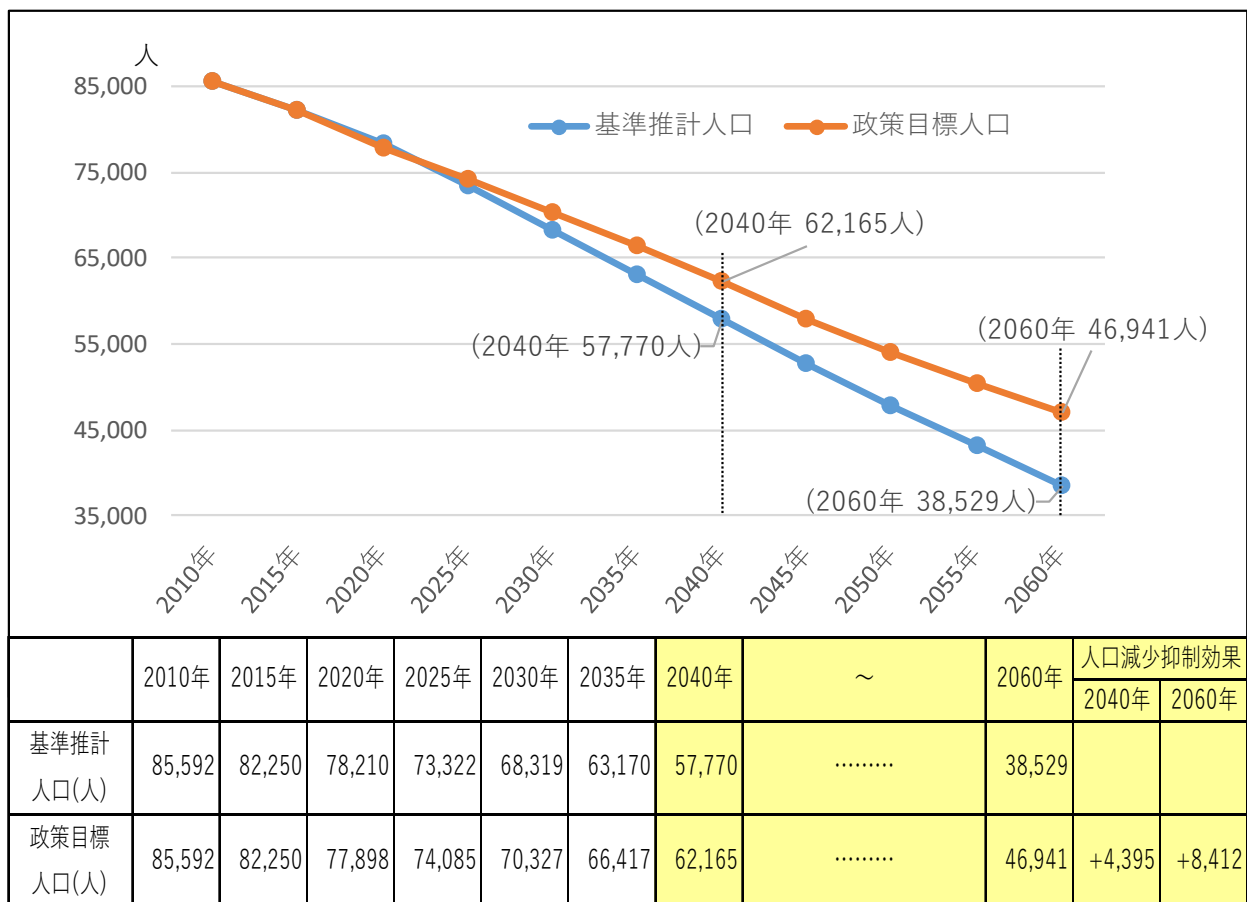
ア 合計特殊出生率を1.82（2008～2012年の5年間を基にしたベイズ推定値）から2035年までに2.3に引き上げる。

イ 若者回復率を現在の39.5%（2010～2015年国勢調査）を2025年度までに50%に引き上げる。

ウ これらのことによって得られる2040年における推計値を「政策目標人口」として設定する（図7）。**政策目標人口（2040年）＝62,165人**

なお、2040年段階での緩和数は小さなものであるが、その意義を過小評価してはならない。2060年段階では基準推計人口に対し8,412人の緩和効果が見込まれる。私たちは、将来世代のために、長期的視点に立って緩和策を進める必要がある。

【図7】 合計特殊出生率・若者回復率に関する目標値の総人口推計への反映



（出典：基準推計は2019年推計、政策目標推計は2015年推計）

2 住民基本台帳データによる人口移動分析

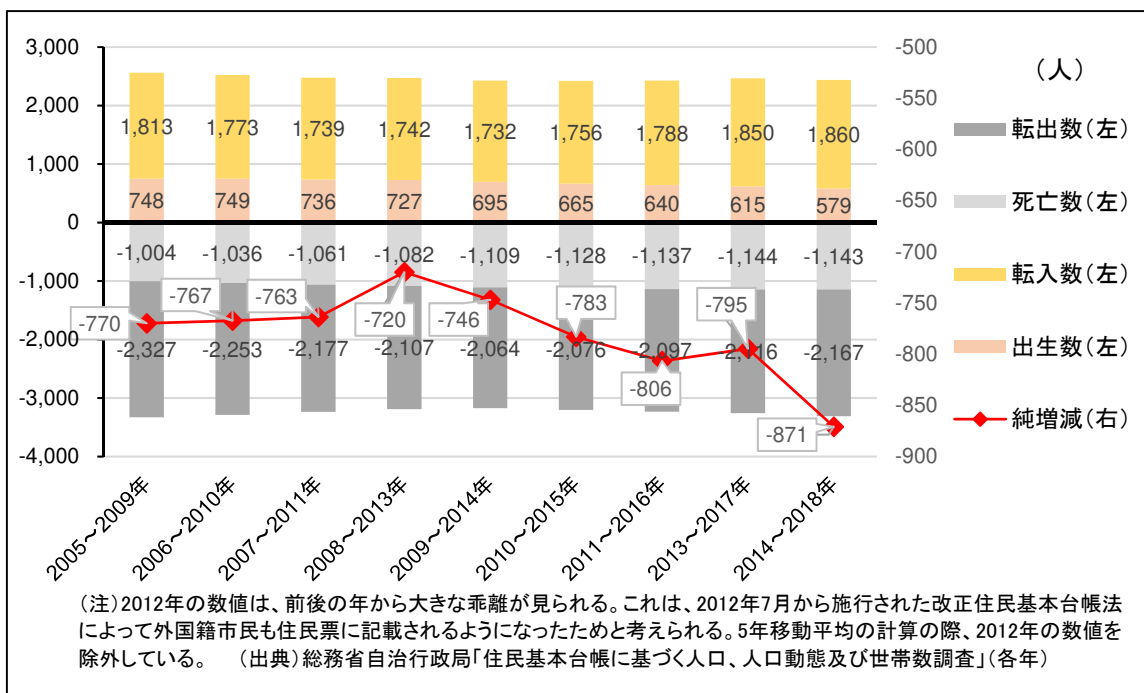
(1) 自然減少・社会減少と傾向

豊岡市の人口移動（転入・転出）を住民基本台帳データによって分析したところ、第1期総合戦略（2015～2019年）の実施前と実施期間中のトレンドに大きな変化は見られない。死亡数増加・出生数減少によって自然減少が拡大する一方、主に20歳代男性の転入超過数の増加によって、社会減少にやや縮小傾向が見られる。この社会減少の改善が一時的か、持続的か、引き続き見守る必要がある（図8）。

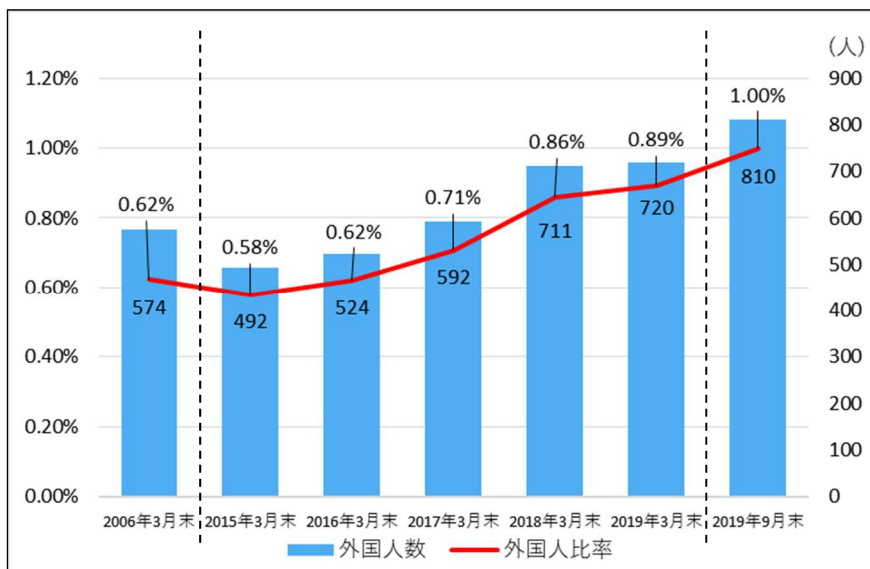
また、外国籍市民は、豊岡市の総人口の約1%となり、年々増加している（図9）。

※「外国籍市民」は住民基本台帳で国籍が日本以外の方を指します。「外国人市民」は住民基本台帳で国籍が日本であっても外国にルーツを持つ方々を包含しています。

【図8】自然増減（出生数・死亡数）と社会増減（転入数・転出数）の移動平均の推移



【図9】外国籍市民数の推移



(出典：豊岡市住民基本台帳)

(2) 転入元・転出先

豊岡市の日本人男性の移動パターンは、高卒と同時に進学・就職で大阪・京都、あるいは県内都市部へ移動し、大学・専門学校の卒業時にUターンするのが一般的である。一方、豊岡市の日本人女性は、男性と比べて15～19歳時の転出数は変わらないが20歳代の転入者は少ない。

地域・性別に見ると、2012～2018年、但馬内からの男性転入者が総数に占める割合は15.3%から15.8%でほぼ変化が無いのに対して、女性転入者の割合は、19.3%から22.9%へ上昇傾向が見られる。また、同期間、男性の但馬内移動数は38人から33人の転入超過でほぼ一定なのに対して、女性の移動数は17人から49人の転入超過に増加している（表1）。

すなわち、豊岡市は但馬内の他の自治体に対して男女とも転入超過の関係性を持ち、特に女性でその関係性は顕著である。これは、他市町の若い女性が親元から独立、あるいは、結婚を機に本市に転入しているものと考えられる。

以上から、豊岡市の男性に比べて低い女性回復率は、但馬内周辺自治体に少なからず依存し、その依存度は高まっている可能性がある。豊岡市より厳しい人口動態に直面する周辺自治体からの転入に依存していることは、豊岡市の将来的な若者回復率、出生力等の見通しが予想以上に厳しいことを示唆していると考えられる。

【表1】 性別・転出元・転入先別の移動者数（2012年、2018年）

	2012年						2018年					
	男性			女性			男性			女性		
	転入 (人)	転出 (人)	転入-転 出(人)	転入 (人)	転出 (人)	転入-転 出(人)	転入 (人)	転出 (人)	転入-転 出(人)	転入 (人)	転出 (人)	転入-転 出(人)
全国(A)	889	1033	-144	758	994	-236	811	1033	-222	677	996	-319
県外	473	563	-90	396	556	-160	442	586	-144	338	545	-207
県内(B)	416	470	-54	362	438	-76	369	447	-78	339	451	-112
県内但馬外	280	372	-92	216	309	-93	241	352	-111	184	345	-161
県内但馬内(C)	136	98	38	146	129	17	128	95	33	155	106	49
県内移動(B/A)	46.8%	45.5%	37.5%	47.8%	44.1%	32.2%	45.5%	43.3%	35.1%	50.1%	45.3%	35.1%
但馬内移動(C/A)	15.3%	9.5%	-26.4%	19.3%	13.0%	-7.2%	15.8%	9.2%	-14.9%	22.9%	10.6%	-15.4%

（出典）兵庫県「住民基本台帳に基づく都道府県及び市区町村別詳細分析表」（2019）

3 進行する人口減少下における地域活力の維持

現在の人口構造、社会移動、出生率の現状等を踏まえると、減少をゼロにすることは、長期にわたって不可能である。それどころか、人口ビジョンで明らかになったとおり、量的緩和策が功を奏したとしても、その2040年段階での効果は、2015年と比べた推計減少人口24,480人に対し4,395人の緩和と小さなものである（図7）。人口減少は依然として続き、地域活力を削ぐ力が今後も増大し続けることを覚悟しなければならない。

そこで、人口減少トレンドの極力の緩和に加えて、それでもなお続く人口減少下において地域活力を維持する対策を同時に進める必要がある。地域活力の減退を人口減少の単なる量的緩和だけではとてもカバーできないとすると、地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換による地域活力の維持を同時に追い求めるほかはない。

しかも、私たちが今後投入できる資源を考えると、量的緩和策を通じて質的転換を同時に図るよう戦略を立てる必要がある。

4 人口減少の緩和と緩和策を通じた地域活力の維持（ローカル&グローバルの推進）

若者が地方を去り大都市へと流れる背景に、「社会的・経済的・文化的に豊かな大都市と貧しい地方」という強いイメージがあることが指摘されている。のみならず、「地方は貧しく、つまらない」というそのイメージは、現に地方に住んでいる人々をもとらえ、自らのまちに対する誇りの空洞化と活力の低下をもたらしてきたことも指摘されている。豊岡についても同様のことが言える。

換言すると、大都市に暮らす価値との比較において、豊岡に暮らす価値が選ばれていないことを意味する。したがって、大都市に暮らす価値に対抗しうる突き抜けた「豊岡に暮らす価値」を創りあげていくことが不可欠である。

幸い、近年、人と人、人と自然など「つながり」の希薄な大都市の暮らしに「空虚さ」を感じ、「つながり」を実感できる地方の暮らしに「豊かさ」を見て取る若い人たちが増えていることも報告されている。

しかも地方には、農林水産業や伝統産業など地方でこそできる仕事に加え、ICTの浸透によって地方でもできる仕事が増えつつあり、仕事も含めた、大都市とは別の豊かさを実感できる、成熟したライフスタイルの展開可能性が広がっている。

豊岡でも全く同様のことが言える。

グローバル化の進展も大きな可能性をもたらしている。

グローバル化の特徴の一つは、世界に同じ基準を適用して、世界を同じ商品、同じ店舗、同じ景色で満たしていくことにある。グローバル化の進展によって、急速に世界が同じ顔になりつつある中で、逆に、ローカルであること、地域性・固有性が輝くチャンスを持ち始めている。ICTの発達によって、地方も直接に世界の人々と結ばれることが可能になった今、地方における「豊かな暮らし」と「やりがいのある仕事」の可能性が出てきている。

豊岡でも、コウノトリの野生復帰が世界的評価を得て、コウノトリ育むお米の販売国数は増加し、伝統的街並みの城崎温泉を中心に豊岡全体で外国人宿泊客数が急増するなど、世界とのつながりが顕著になっている。また、城崎国際アートセンターには世界各国から優れたアーティストが訪れ、芸術文化の分野でも豊岡は世界と直接に結ばれ、人々を惹きつけ始めている。ローカル&グローバルの視点は、豊岡の有力な活性化戦略となっている。

こうしたチャンスを活かし、「豊岡には大都市とは別の価値観に基づく豊かな暮らしとやりがいのある仕事がある」ことを自覚的にとらえて豊岡で暮らし、働く若者の増加を図ることができれば、人口減少の緩和につながることはもちろん、地域社会・地域経済・地域文化のあり様と豊岡の人々の自己イメージを変え、新たな地域活力の創造へとつながっていく可能性がある。

なお、都市での経験から得られたノウハウ、センス、ネットワークを持つ多様な人々の移住や関与は、その年齢を問わず、豊岡の「素材」を磨いて、国内外への通用力を高める可能性を有している。それは豊岡の魅力がさらに高まり、若者を惹きつける力ともなりうることから、戦略の策定・推進にあたって十分留意する必要がある。

5 第2期豊岡市地方創生総合戦略の新たな視点

地方創生総合戦略は、2015年度の策定以来、見直しを行いながら推進してきたが、これまでの戦略の効果や明確となった課題を捉え、さらなる挑戦を進めていく。

(1) 多様性を受け入れるまちづくり

ア 女性に選ばれるまち（ジェンダーギャップの解消）

若い女性の減少は、更なる少子化をもたらし、まちの存続自体に大きな影響を及ぼす。近年の研究では、出生率の増減と子どもの数の増減は、ほとんど関係はなく、女性の社会増減と子どもの数の増減には、かなり強い相関関係があるとも言われている。豊岡において、若い女性の回復率は、男性に比べ低くなっている（図3-3）。

なぜ豊岡が若い女性たちに選ばれていないのか。そこには、豊岡が男性中心の社会であることに原因があると考えられる。ジェンダーギャップの解消は喫緊の課題であり、いきいきと暮らす女性を増やす取組みを進めるとともに、さらに多くの若い女性を呼び込む施策を展開していかなければならない。

イ 外国人市民との共生推進

近年増加傾向にある外国人市民を人口減少社会におけるコミュニティの一員として受け入れ、共生する施策を実施していく。

(2) 深さをもった演劇のまちづくり

演劇のまちづくりは、豊岡に暮らす突き抜けた価値を創りあげるために必要なものである。これまでの取組みにより、城崎国際アートセンターは、世界中から人々を集め、芸術文化観光専門職大学を誘致した。演劇は、まちの魅力を高め、人々をひきつけるとともに、教育・療育分野など様々な場面で新たな可能性が広がっている。さらに、演劇が浸透する深さをもった演劇のまちづくりを進めていく。

(3) 芸術文化観光専門職大学との連携

2021年4月に開学した芸術文化観光専門職大学は、文化・観光分野において、優れた教師陣と強い目的意識をもった学生が学ぶ拠点となり、それらの学生や大学の活動によって、まちの魅力がさらに高まることが期待される。地域における専門職大学の可能性を最大限に活かすため、専門職大学との連携を進めていく。同大学と連携した取組みの一つとして、児童・生徒のコミュニケーション教育を進め、多様な価値観と自己決定力を身につけた次世代を育成する。

併せて、専門職大学で学んだ学生が、引き続き豊岡で働き、定住するよう、地域と一体となった取組みを進めていく。

6 第2期豊岡市地方創生総合戦略体系図

以上のことを踏まえ、人口減少のスピードを極力和らげるとともに、その対策を通じて、なお進む人口減少下にあっても地域活力を維持できるよう、第2期「豊岡市地方創生総合戦略」を策定し、実行することとする。

そこに示す豊岡市における地方創生のシナリオは、次のとおりである。

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市—Local & Global City—」＝「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
- (4) 特に、若い女性を増やす対策を進める。
- (5) 以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇えらせ、地域活力の維持を図る。

戦略の策定・実行にあたっては、本市が戦略的政策評価で用いているロジック・モデルの手法（目指す姿を明確にしたうえで、目的達成に強い因果関係を持つ手段を選択して体系化し（以下「戦略体系図」）、体系そのものをPDCAサイクルで検証する手法）を用いる。

【戦略体系図】

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
主要手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている
主要手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
02-04	市民が多様な人々を受け入れている
主要手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
主要手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
主要手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
主要手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている
06-01	若者が集い、交流する場が増えている
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している

- ※「上位目的」：この戦略において長期的に実現したい状態
 - 「戦略目的」：この戦略において5年程度で達成したい状態
 - 「主要手段」：戦略目的を実現するための主要な手段（2桁）
- 4桁番号の手段は、主要手段を実現するための具体的な手段

※戦略策定・遂行にあたっての留意事項

- ① ジェンダーギャップの解消推進、移住定住促進、多様性推進、結婚支援等の観点から、子育て支援の総合拠点と子どもから高齢者まで「多様な人々が集い・交わる場」の創出を行う。
- ② 地域社会、地域経済、地域文化のあり様の質的転換を図る手段の一つとして、スマートコミュニティを推進していく。
スマートコミュニティは、ICT、IoT、データ活用等の適切な技術を最大限活用し、地域の特性に応じて、モビリティ、地域産業、エネルギー、健康・医療、人材育成など様々な課題を解決し、持続的に発展する地域を作ろうとするものである。
これにより、生活の心地よさを高めつつ、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティの構築を目指す。
- ③ 全国から多様な人材を地域おこし協力隊として委嘱し、新たな視点や発想により、地域の活性化や課題解決を図るとともに、隊員期間終了後の定着による移住者増加を目指す。あわせて、隊員自身の人とのつながりから、関係人口を創出・拡大する取組みを行う。

7 戦略の期間

この戦略の期間は、2020年度から2024年度までの5年とする。

8 戦略の進め方

- (1) 様々な統計やアンケート結果等の分析を踏まえながら、戦略の逐行、見直しを行う。
- (2) 人口減少対策は、強い意志の下に、長期にわたって継続的かつ総合的に実施するため、関係部署と連携しながら、事業を進める。
- (3) 戦略目的を達成するためには、戦略及び戦略に盛り込まれる個々の事業の策定及び実施にあたって、関係する市民・企業・団体・行政の協働が不可欠であることから、協働の推進体制を整える。

9 第2期豊岡市地方創生総合戦略に基づく事業・指標

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている	
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている	【指標】 人口の社会減の緩和（転入－転出）

主要手段－具体的手段		事業（該当する事業が重複事業は〔重複〕で記載）	重要業績評価指標（KPI）
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている		豊岡市公式ウェブサイト閲覧（セッション）数
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	豊岡ファンミーティング、Iターン推進（移住プロモーション）、文化と教育の先端自治体連携、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、豊岡スマートコミュニティ推進機構〔重複〕、観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕	豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン推進（ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営等）、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕	新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	Iターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）、定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助等）、地域おこし協力隊の推進〔重複〕	移住組数（窓口相談等の利用者）
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている		豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	IT企業誘致推進、スマート農業推進、子育て支援の総合拠点等整備〔重複〕	IT企業誘致件数
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	内発型産業育成（ビジネス相談窓口、創業支援等）、政策アドバイザー設置、豊岡スマートコミュニティ推進機構、新規就農総合支援、豊岡農業スクール、地域おこし協力隊の推進	創業件数、新規就農者数（青年等就農計画認定者）
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	豊岡靴・豊岡財布技術向上支援、豊岡靴ブランドPR推進、スマート農業推進〔重複〕、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕	靴製造品出荷額、靴産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「靴縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇用者（正社員）数
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	多文化共生推進、子育て支援の総合拠点等整備、Iターン推進（ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等）〔重複〕、アーティスト・クリエイター移住等促進〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕	アーティスト・クリエイター移住者数
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている		女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター	ファミリーサポートセンター会員数
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕	—
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進、子育てママの活躍機会促進、子育て支援の総合拠点等整備〔重複〕	子育て中の就労促進事業による就職内定者数
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている		移輸出額
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	城崎温泉街交通環境改善、観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）、観光まちづくり推進（専門人材配置）、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、観光データ基盤構築活用	観光消費額（インバウンド宿泊者）、豊岡演劇祭の市外からの来訪者数
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕	コウノトリ育むお米輸出総量
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン 2021、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催、城崎国際アートセンター運営・事業（アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2021参加等）、アーティスト・イン・レジデンス、アーティスト・クリエイター移住等促進、演劇のまちづくり推進、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学連携推進〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕	アーティスト・イン・レジデンス滞在者数（累計）、アーティスト・クリエイター移住者数
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	専門職大学連携推進、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕、英語教育推進〔重複〕	イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進、おっとりっしゃ！とよおかのものづくり、高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕	ふるさとのひとやものに関わる活動を通して、ふるさとや自分のことで、何か新たに発見したり、考えたりしたことがあった児童・生徒の割合
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	高校生コミュニケーション教育等支援、ふるさと教育推進〔重複〕	自分自身が関わって豊岡を良くしていこうと思う高校生の割合
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、豊岡の未来を創る高校生支援、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合、中学校卒業時の英検3級以上相当の英語力を有する生徒の割合
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている		婚姻数
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	民間団体への婚活イベント補助、若者独身者交流	婚活イベントによる成婚数
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	ボランティア仲人養成（恋するお見合い）、出会い機会創出（はーとピー）、民間団体への婚活イベント補助〔重複〕、若者独身者交流〔重複〕	出会い機会創出事業による成婚数
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	ボランティア仲人養成（縁結びさん）、結婚相談所機能拡充、結婚・女性活躍推進調査、子育て支援の総合拠点等整備〔重複〕、出会い機会創出（はーとピー）〔重複〕	ボランティア仲人による成婚数、結婚相談所による成婚数

1 基本目標、主要手段・具体的手段、重要業績評価指標及び事業

(1) 基本目標

戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
	指標	基準値	目標値
人口の社会減の緩和（転入－転出） （※兵庫県市町別毎月人口推計調査1～12月）		△442人（2019年） （転入1,893人 －転出2,335人）	△388人 （2024年度）

(2) 主要手段・具体的手段、重要業績評価指標及び事業

主要手段 01 （2桁）	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
豊岡市公式ウェブサイト閲覧（セッション）数		831,716件 （2018年7月25日～ 2019年3月31日）	1,340,000件 （2024年度）

主要手段を実現するための具体的手段 01-01 （4桁）	豊岡の良さが内外に伝わっている		
	重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
	豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧（セッション）数	118,442件 （2018年度）	138,000件 （2024年度）

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
01-01-01	豊岡ファンミーティング	“豊岡ファン”に市の取組みを紹介する。 豊岡市内キーパーソンと“豊岡ファン”との交流会を実施する。	大交流課
01-01-02	Iターン推進（移住プロモーション）	移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」で市民ライターが豊岡のリアルな暮らし（地域事情・住まい・仕事等）を記事やSNSで発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。	環境経済課
01-01-03	文化と教育の先端自治体連携	構成自治体（2市3町：北海道東川町、富山県南砺市、岡山県奈義町、香川県小豆島町、豊岡市）が連携しながら、文化や教育による先端的なまちづくりの取組みを進める。	大交流課
01-01-04	豊岡スマートコミュニティ推進機構〔重複〕	「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」の実現	大交流課

		を目指す。 公共交通、防災・環境・エネルギーなどのテーマを設け、課題解決を図るための取組みを進めていく。	
01-01-05	観光事業（ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等）〔重複〕	国内外のテレビ、雑誌等の編集者などを招聘し、市の取組みや観光素材の取材を通して、メディア等への露出や旅行商品造成につなげる。 観光に関する様々な客観的データを取得・分析し、その結果をもとに施策を定量的に検証することで、観光による地域への経済波及効果を高める。 無料で利用できる公衆無線LAN環境の提供、市内各地域の多様な特徴を活かしたワーケーション等の拠点の展開に向けた環境整備への支援、テレワーク拠点整備など、受入環境の基盤を整え、来訪者の満足度向上とより多くの“豊岡ファン”を創出する。 ウィズコロナ社会の新しい観光の形を見据え、国内誘客促進強化のための情報発信戦略等に基づく大交流ビジョンの実現に向けた国内誘客促進を図る。	大交流課
01-01-06	地域おこし協力隊の推進〔重複〕	新たな視点や発想により、地域の課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。 隊員の活動推進及び隊員の起業支援、新規隊員の募集、お試し協力隊等の実施。	環境経済課

主要手段を実現するための具体的手段 01-02 (4桁)	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
新規就職者数 (ジョブナビ豊岡登録企業)	未測定	865人増 (5年間)	

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
01-02-01	Uターン推進 (ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営等)	オンラインを含めた仕事の相談会、求人・企業情報サイト「ジョブナビ豊岡」で効果的な情報発信を行うとともに、市内企業40社を集めた合同説明会を大阪市内で開催し、市内企業とのマッチングを図ることでUターン就職を促進する。	環境経済課

01-02-02	高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕	高校生がダンスを通じた地域探究や企業見学、地域課題解決に向けた学習と、学校外での地域を活性化するための事業を実施する。	環境経済課
----------	-----------------------	---	-------

主要手段を実現するための具体的手段 01-03 (4桁)	移住・定住を検討する人に情報が提供されている
------------------------------	------------------------

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
移住組数 (窓口相談等利用者)	38 組 (2018 年度)	224 組増 (5 年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
01-03-01	I ターン推進 (ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等)	<p>移住希望者を対象に、地域・住まい・仕事等の情報提供や、視察コーディネート・マッチング等を一括して実施するワンストップ窓口を設置する。</p> <p>移住希望者が多数集まる大阪や東京の移住イベントに出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、豊岡への来訪や移住に導く。</p> <p>移住者等多様な人々が集う「まちのサードプレイス」を運営する。移住相談と現地案内等を市民と連携・協働して移住推進を図る。</p> <p>移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐWEBサービス「SMOUT(スマウト)」を利用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージのやりとりを通して、移住者及び関係人口を増加させる。</p>	環境経済課
01-03-02	定住促進 (移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助等)	<p>移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を向上させ、移住を促進する。</p> <p>市内の空き家を対象として、芸術文化観光専門職大学生向けのシェアハウスを整備する事業者等に経費の一部を補助する。</p> <p>市内での起業拠点を創出するとともに、テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、コワーキングスペースを新たに開設する事業者等に経費の一部を補助する。</p>	環境経済課
01-03-03	地域おこし協力隊の推進〔重複〕	<p>新たな視点や発想により、地域の課題解決を図るとともに、隊員期間(最長3カ年)終了後の定着による移住者増加を目指す。</p>	環境経済課

		隊員の活動推進及び隊員の起業支援、新規隊員の募集、お試し協力隊等の実施。	
--	--	--------------------------------------	--

主要手段 02 (2桁)	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	41.1% (2018年度)	60% (2024年度)

主要手段を実現するための具体的手段 02-01 (4桁)	働きがいがあり、働きやすい場が増えている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	I T企業誘致件数	0件 (2019年度)	5件増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-01-01	I T企業誘致推進	若者や女性が働きたい職場となることが期待されるI T企業を誘致するため、自治体と地方進出を検討する企業とのオンラインによるマッチングイベントを活用した誘致活動を展開する。 I T企業誘致に関する補助制度の一部を拡充し、地域課題解決に取り組む事業者への支援に対応する。	環境経済課
02-01-02	スマート農業推進	水位、水温及び地温を通信回線を介してスマートフォン等で確認できる水田センサーを活用し、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。	農林水産課
02-01-03	子育て支援の総合拠点等整備〔重複〕	アイティ4階に子育て支援の総合拠点を整備するとともに、女性や若者、高齢者、外国人、障害者等「多様な人々が集い・交わる場」を創出し、地方創生を先導する「多様性を受け入れるまちづくり」の場を整備する。	こども育成課

主要手段を実現するための具体的手段 02-02 (4桁)	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	創業件数	19件 (2018年度)	110件増 (5年間)
	新規就農者数 (青年等就農計画の認定者)	2人 (2019年度)	17人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-02-01	内発型産業育成 (ビジネス相談窓口、創業支援等)	市内創業希望者や市内企業を対象にしたビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。 創業・事業承継に取組む若者・女性のスタートアップに要する経費を支援する。 具体的な目標を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。	環境経済課
02-02-02	政策アドバイザー設置	豊岡市の政策・施策を推進するため、ソーシャルビジネス、まちづくりにおけるデザイン等について、専門的立場から助言等を行う3名の政策アドバイザーを設置する。	大交流課
02-02-03	豊岡スマートコミュニティ推進機構	「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」の実現を目指す。 公共交通、防災・環境・エネルギーなどのテーマを設け、課題解決を図るための取組みを進めていく。	大交流課
02-02-04	新規就農総合支援	若手就農者へ農業用機械導入等の初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する新規就農者や豊岡農業スクール生への家賃補助の支援を行う。 国の農業次世代人材投資事業を活用し、年間最大150万円を給付する。	農林水産課
02-02-05	豊岡農業スクール	就農意欲のある研修生(年3人)の募集と、認定農業者への派遣研修(最長3年)事業を豊岡市認定農業者連絡協議会へ委託し、将来の独立自営就農又は雇用就農につなげる。	農林水産課
02-02-06	地域おこし協力隊の推進	新たな視点や発想により、地域の課題解決を図るとともに、隊員期間(最長3カ年)終了後の定着による移住者増加を目指す。 隊員の活動推進及び隊員の起業支援、新規隊員の募集、お試し協力隊	環境経済課

		等の実施。	
--	--	-------	--

主要手段を実現するための具体的手段 02-03 (4桁)	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
---	-----------------------------

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
靴製造品出荷額	104億円 (2019年調査)	116億円 (2024年調査)
靴産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「靴縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇用者(正社員)数	122人 (2020年度)	32人増 (4年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-03-01	豊岡靴・豊岡財布技術向上支援、豊岡靴ブランドPR推進	靴産業の技術深化を図るため、財布の生産能力を習得する人材育成事業を行い、新たな柱としての定着を目指す。 「豊岡靴」ブランドの価値を向上させる取組みを支援する。特に、今年開催される東京オリンピックの開催を見据え、高品質を追い求めた「豊岡靴」ブランドの国内外へ向けた情報発信力を強化する。	環境経済課
02-03-02	スマート農業推進〔重複〕	水位、水温及び地温を通信回線を介してスマートフォン等で確認できる水田センサーを活用し、近年多発する高温障害による品質低下対策を講じる。	農林水産課
02-03-03	コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕	消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、JAたじま等と協働し国内外で情報発信等を展開する。 アメリカで開催される日本食エキスポ等に出展するとともに、オーストラリア及び香港の食品販売店等で販売プロモーションを展開する。	農林水産課

主要手段を実現するための具体的手段 02-04 (4桁)	市民が多様な人々を受け入れている
---	-------------------------

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
アーティスト・クリエイター移住者数	5人 (2019年度)	35人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
02-04-01	多文化共生推進	<p>外国人市民に関する調査研究を引き続き実施し、多文化共生プランを策定する。</p> <p>市役所の窓口等でICTを活用した映像通訳、翻訳アプリを導入する等、多言語による情報提供や相談対応を図る。</p>	政策調整課
02-04-02	子育て支援の総合拠点等整備	<p>アイティ4階に子育て支援の総合拠点を整備するとともに、女性や若者、高齢者、外国人、障害者等「多様な人々が集い・交わる場」を創出し、地方創生を先導する「多様性を受け入れるまちづくり」の場を整備する。</p>	こども育成課
02-04-03	Iターン推進 (ワンストップ窓口、移住イベント出展、まちのサードプレイス等)〔重複〕	<p>移住希望者を対象に、地域・住まい・仕事等の情報提供や、視察コーディネート・マッチング等を一括して実施するワンストップ窓口を設置する。</p> <p>移住希望者が多数集まる大阪や東京の移住イベントに出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、豊岡への来訪や移住に導く。</p> <p>移住者等多様な人々が集う「まちのサードプレイス」を運営する。移住相談と現地案内等を市民と連携・協働して移住推進を図る。</p> <p>移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐWEBサービス「SMOUT(スマウト)」を利用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージのやりとりを通して、移住者及び関係人口を増加させる。</p>	環境経済課
02-04-04	アーティスト・クリエイター移住等促進〔重複〕	<p>アーティスト・クリエイターが豊岡への移住をイメージしやすいよう、豊岡での生活、住まい、仕事等の生活情報の提供及び相談を受ける機会を設ける。</p>	大交流課
02-04-05	地域おこし協力隊の推進〔重複〕	<p>新たな視点や発想により、地域の課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。</p> <p>隊員の活動推進及び隊員の起業支援、新規隊員の募集、お試し協力隊等の実施。</p>	環境経済課

主要手段 03 (2桁)	いきいきと暮らす女性が増えている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数		0事業所 (2018年度)	20事業所増 (5年間)

主要手段を実現するための具体的手段 03-01 (4桁)	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
ファミリーサポートセンター会員数		178人 (2018年度)	280人 (2024年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
03-01-01	ジェンダーギャップ解消推進	「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」(2021年3月策定)に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた、市民への戦略説明会、ワークショップ等を実施する。 子育て世帯における男女の家事・育児時間に関する調査、ひとり親家庭意識調査を実施する。	ジェンダーギャップ対策室
03-01-02	子育て広場管理	「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、5か所の子育て広場の除草等の維持管理を行う。 子育て女性のイベント開催の場所とするなど、子育て世代の活用を促進する。	健康増進課
03-01-03	ファミリーサポートセンター	子どもの預かりなどの支援を受けたい保護者と支援を行いたい者の会員組織を運営する。 会員同士の相互援助が円滑に図れるよう、専任アドバイザーを配置して、会員のマッチング、会員研修、交流事業等を行う。	こども育成課

主要手段を実現するための具体的手段 03-02 (4桁)	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
—		—	—

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
03-02-01	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕	「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」（2021年3月策定）に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた、市民への戦略説明会、ワークショップ等を実施する。 子育て世帯における男女の家事・育児時間に関する調査、ひとり親家庭意識調査を実施する。	ジェンダーギャップ対策室
03-02-02	子育て広場管理〔重複〕	「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、5か所の子育て広場の除草等の維持管理を行う。 子育て女性のイベント開催の場所とするなど、子育て世代の活用を促進する。	健康増進課

主要手段を実現するための具体的手段 03-03（4桁）	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
------------------------------------	-----------------------------------

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
子育て中の就労促進事業による就職内定者数	22人 (2018年度)	150人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
03-03-01	ワークイノベーション推進	女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指し、経営者や従業員等の意識改革、行動改革を促す。	ジェンダーギャップ対策室
03-03-02	子育て中の女性の就労促進	コロナ禍でDX（デジタル・トランスフォーメーション）がさらに進展する社会を見据えて、子育て中の女性を対象にデジタルマーケティング人材を育成するとともに、出口戦略（就労先などの確保）にもあわせて取り組み、女性に対して「子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く」ロールモデルを示す。	ジェンダーギャップ対策室
03-03-03	子育てママの活躍機会促進	親子の活躍の場を増やす（＝親子の姿を見る機会を増やす）先遣隊として、「NPO 法人ママの働き方応援隊」派遣の場を創出する。 子育て女性活動団体へイベントの開催経費を補助する。	健康増進課
03-03-04	子育て支援の総合拠点等整備〔重複〕	アイティ4階に子育て支援の総合拠点を整備するとともに、女性や若者、高齢者、外国人、障害者等「多様な人々が集い・交わる場」を創出	こども育成課

		し、地方創生を先導する「多様性を受け入れるまちづくり」の場を整備する。	
--	--	-------------------------------------	--

主要手段 04 (2桁)	豊岡で人々が世界と出会っている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	移輸出額	231,268 百万円 (2017 年度)	233,473 百万円 (2024 年度)

主要手段を実現するための具体的手段 04-01 (4桁)	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	観光消費額 (インバウンド宿泊者)	1,096 百万円 (2017 年度)	2,502 百万円 (2024 年度)
	豊岡演劇祭の市外からの来訪者数	600 人 (2019 年度)	4,300 人 (2024 年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-01-01	城崎温泉街交通環境改善	城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができるようにするため、城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動を行う。	建設課
04-01-02	観光事業 (ワーケーション環境整備、テレワーク拠点整備等)	<p>国内外のテレビ、雑誌等の編集者などを招聘し、市の取組みや観光素材の取材を通して、メディア等への露出や旅行商品造成につなげる。</p> <p>観光に関する様々な客観的データを取得・分析し、その結果をもとに施策を定量的に検証することで、観光による地域への経済波及効果を高める。</p> <p>無料で利用できる公衆無線 LAN 環境の提供、市内各地域の多様な特徴を活かしたワーケーション等の拠点の展開に向けた環境整備への支援、テレワーク拠点整備など、受入環境の基盤を整え、来訪者の満足度向上とより多くの“豊岡ファン”を創出する。</p> <p>ウィズコロナ社会の新しい観光の形を見据え、国内誘客促進強化のための情報発信戦略等に基づく大交流ビジョンの実現に向けた国内</p>	大交流課

		誘客促進を図る。	
04-01-03	観光まちづくり推進（専門人材配置）	専門的な視野を持った経営人材やマーケティングの専門家などを豊岡観光イノベーションに配置する。（企業人派遣の1名増）	大交流課
04-01-04	インバウンド誘客推進	世界的な新型コロナウイルス感染症感染拡大による海外渡航制限の現状を鑑み、海外現地レップ（情報発信等代理店）、本市外国語版ホームページ等による情報発信を基本とした事業を実施する。特に、各国の感染状況により、比較的早期の訪日観光回復が見込まれるアジア市場（特に台湾）を重点としたプロモーションを行う。	大交流課
04-01-05	豊岡演劇祭協同開催	豊岡演劇祭 2021 を市内文化施設等で上演し、国内外からの誘客を図る。また、フリンジ型の演劇祭として5年でアジアNo.1、10年で世界有数の演劇祭を目指して開催し、「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。	大交流課
04-01-06	観光データ基盤構築活用	デジタル技術の活用により、観光データ等をすばやく把握することで、観光関連事業者の費用削減、利益向上を実現する。 来訪者の利便性や満足度を向上させ、より良いサービスの提供を通じて、地域全体の発展につなげる。	大交流課

主要手段を実現するための具体的手段 04-02（4桁）	メイドイン豊岡が世界に広がっている	
------------------------------------	--------------------------	--

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
コウノトリ育むお米輸出総量	17.2 トン (2018 年度)	60 トン (2024 年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-02-01	コウノトリ育むお米ブランド化推進	消費者にコウノトリ育むお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、JAたじま等と協働し国内外で情報発信等を展開する。 アメリカで開催される日本食エキスポ等に出展するとともに、オーストラリア及び香港の食品販売店等で販売プロモーションを展開する。	農林水産課

04-02-02	アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕	選考によって選ばれた国内外からの最先端のアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。また、市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。	大交流課
----------	---------------------	---	------

主要手段を実現するための具体的手段 04-03 (4桁)	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
------------------------------	----------------------------

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
アーティスト・イン・レジデンス滞在者数 * 累計	1,066 人 (2018 年度)	1,970 人 (2024 年度)
アーティスト・クリエイター移住者数	5 人 (2019 年度)	35 人増 (5 年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-03-01	出石永楽館歌舞伎開催	豊岡のイメージアップと交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として、「第13回永楽館歌舞伎」を開催する。	出石地域振興課
04-03-02	芸術文化参与の設置	「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略アドバイザーとして、芸術文化参与を設置し、地方創生総合戦略の推進を図る。	文化振興課
04-03-03	豊岡アートシーズン 2021	文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2021 (豊岡アートシーズン 2021)」として展開し、市の文化芸術の魅力を内外に向け発信する。	文化振興課
04-03-04	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催 (豊岡アートシーズン 2021 参加)	第7回おんぷの祭典 (子どもたちのためのコンサート、学校訪問コンサート、街角コンサート、稽古堂イブニングコンサート、グラウンドフェスティバル) を開催する。	生涯学習課
04-03-05	城崎国際アートセンター運営・事業 (アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2021 参加等)	城崎国際アートセンターの芸術面での新たな展開を目指し、新たな芸術監督及び館長を迎える。 引き続き芸術文化の国際的戦略拠点として運営、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の強化を図る。	大交流課

04-03-06	アーティスト・イン・レジデンス	選考によって選ばれた国内外からの最先端のアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。また、市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。	大交流課
04-03-07	アーティスト・クリエイター移住等促進	アーティスト・クリエイターが豊岡への移住をイメージしやすいよう、豊岡での生活、住まい、仕事等の生活情報の提供及び相談を受ける機会を設ける。	大交流課
04-03-08	演劇のまちづくり推進	市独自の認証による大道芸を中心としたパフォーマンスのライセンスを交付し、アーティストが市内で自由に活動できる環境を整えるとともに、市民や観光客がアートに触れる機会を創出できるよう制度構築を進める。 「深さをもった演劇のまちづくり」を対外的にPRすることにより、豊岡のまちづくりに共感する企業を増やし、企業版ふるさと納税の獲得を目指す。	大交流課
04-03-09	多文化共生推進〔重複〕	外国人市民に関する調査研究を引き続き実施し、多文化共生プランを策定する。 市役所の窓口等でICTを活用した映像通訳、翻訳アプリを導入する等、多言語による情報提供や相談対応を図る。	政策調整課
04-03-10	豊岡演劇祭協同開催〔重複〕	豊岡演劇祭2021を市内文化施設等で上演し、国内外からの誘客を図る。また、フリンジ型の演劇祭として5年でアジアNo.1、10年で世界有数の演劇祭を目指して開催し、「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。	大交流課
04-03-11	専門職大学連携推進〔重複〕	芸術文化観光専門職大学内に設置されている、「地域リサーチ&イノベーションセンター」と協働して、但馬全体で地域の課題解決を進める。	大交流課
04-03-12	地域おこし協力隊の推進〔重複〕	新たな視点や発想により、地域の課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。 隊員の活動推進及び隊員の起業支援、新規隊員の募集、お試し協力隊等の実施。	環境経済課

主要手段を実現するための具体的手段 04-04 (4桁)	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数	45人 (2019年度)	270人増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
04-04-01	専門職大学連携推進	芸術文化観光専門職大学内に設置されている、「地域リサーチ&イノベーションセンター」と協働して、但馬全体で地域の課題解決を進める。	大交流課
04-04-02	豊岡演劇祭協同開催〔重複〕	豊岡演劇祭 2021 を市内文化施設等で上演し、国内外からの誘客を図る。また、フリンジ型の演劇祭として5年でアジアNo.1、10年で世界有数の演劇祭を目指して開催し、「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。	大交流課
04-04-03	高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕	高校生がダンスを通じた地域探究や企業見学、地域課題解決に向けた学習と、学校外での地域を活性化するための事業を実施する。	環境経済課
04-04-04	英語教育推進〔重複〕	小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる環境を整え、小学校から中学校にわたる9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることでできる力を高める。 教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学校3年生対象）等を実施する。	こども教育課

主要手段 05 (2桁)	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合		小 63.9% 中 39.5% (2019年度)	小 68.9% 中 44.5% (2024年度)

主要手段を実現するための具体的手段 05-01 (4桁)	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
ふるさとへのひとやものに関わる活動を通して、ふるさとや自分のことで、何か新たに発見したり、考えたりしたことがあった児童・生徒の割合		小 84.6% 中 83.0% (2020年度)	小 88.7% 中 86.0% (2024年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
05-01-01	ふるさと教育推進	「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習課題とし、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。	こども教育課
05-01-02	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	市内のものづくり企業の認知度向上を目的に、豊岡市工業会が開催する企業展示等ものづくり体験教室の支援を行う。	環境経済課 (豊岡市工業会)
05-01-03	高校生コミュニケーション教育等支援〔重複〕	高校生がダンスを通じた地域探究や企業見学、地域課題解決に向けた学習と、学校外での地域を活性化するための事業を実施する。	環境経済課

主要手段を実現するための具体的手段 05-02 (4桁)	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値
自分自身が関わって豊岡を良くしていこうと思う高校生の割合		未測定	70% (2024年度)
具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
05-02-01	高校生コミュニケーション教育等支援	高校生がダンスを通じた地域探究や企業見学、地域課題解決に向けた学習と、学校外での地域を活性化するための事業を実施する。	環境経済課

05-02-02	ふるさと教育推進〔重複〕	「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習課題とし、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。	こども教育課
----------	--------------	--	--------

主要手段を実現するための具体的手段 05-03 (4桁)	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
---------------------------------	-----------------------------

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合	小 83.6% 中 78.8% (2019年度)	小 88.6% 中 83.8% (2024年度)
中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	55.3% (2019年度)	70% (2024年度)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
05-03-01	コミュニケーション教育推進	すべての小学校6年生と中学校1年生が演劇的手法を用いて、コミュニケーション能力の向上を図る。	こども教育課
05-03-02	英語教育推進	小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる環境を整え、小学校から中学校にわたる9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることでできる力を高める。 教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学校3年生対象）等を実施する。	こども教育課
05-03-03	豊岡の未来を創る高校生支援	高校版ローカル&グローバル教育に取り組む豊岡総合高校の生徒を対象に、カナダ・ビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。	こども教育課
05-03-04	非認知能力向上対策	非認知能力向上のため、モデル校2校において、平田オリザ氏監修のプログラムにより、小学校1年生～3年生に演劇ワークショップを試行的に実施するとともに、効果測定を行う。	こども教育課
05-03-05	英語遊び保育推進	就学前（4、5歳児）の子どもたちを対象に、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う英語遊び指導員を巡回派遣する。	こども育成課

主要手段 06 (2桁)	結婚したいと思う人が結婚できている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
婚姻数		282組 (2018年)	287組 (2024年)

主要手段を実現するための具体的手段 06-01 (4桁)	若者が集い、交流する場が増えている		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
婚活イベントによる成婚数		0組 (2018年度)	5組増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
06-01-01	民間団体への婚活イベント補助	独身男女の多様な出会い機会を創出するため、民間団体が主催する婚活・恋活イベントへ補助する。	健康増進課
06-01-02	若者独身者交流	「婚活事業」は敷居が高いと感じて参加しない層をターゲットに、カップリングを行わない交流の場を設ける。	健康増進課

主要手段を実現するための具体的手段 06-02 (4桁)	多種多様な出会いの機会が充実している		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
出会い機会創出事業による成婚数		8組 (2018年度)	50組増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
06-02-01	ボランティア仲人養成 (恋するお見合い)	女性が男性のプロフィールを見て希望相手を選び、お見合いを行う機会を創出する。	健康増進課
06-02-02	出会い機会創出 (はーとピー)	婚活応援プロジェクト「はーとピー」(婚活イベント)を実施し、結婚を支援する。また、専任の結婚支援員を置き、希望者には細やかなアフターフォローを行う。	健康増進課

06-02-03	民間団体への婚活イベント補助〔重複〕	独身男女の多様な出会い機会を創出するため、民間団体が主催する婚活・恋活イベントへ補助する。	健康増進課
06-02-04	若者独身者交流〔重複〕	「婚活事業」は敷居が高いと感じて参加しない層をターゲットに、カップリングを行わない交流の場を設ける。	健康増進課

主要手段を実現するための具体的手段 06-03 (4桁)	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
	ボランティア仲人による成婚数	1組 (2018年度)	23組増 (5年間)
	結婚相談所による成婚数	5組 (2018年度)	42組増 (5年間)

具体的手段を実現するための事業		事業概要	担当課
06-03-01	ボランティア仲人養成（縁結びさん）	ボランティア仲人「縁結びさん」を養成し、活動を支援する。 ボランティア仲人が結婚相談所や婚活イベント等に行かない独身者層のご縁を取り持ち、結婚を支援する。	健康増進課
06-03-02	結婚相談所機能拡充	社会福祉協議会の結婚相談所ボランティア相談員の成婚報奨金を補助する。また、担当職員、相談員の資質向上のため、研修費を補助する。	健康増進課
06-03-03	結婚・女性活躍促進調査	「若者の動向に詳しい者」や「市内に在住する若者」の意見を聞き、市が行う婚活事業を推進する。	健康増進課
06-03-04	子育て支援の総合拠点等整備〔重複〕	アイティ4階に子育て支援の総合拠点を整備するとともに、女性や若者、高齢者、外国人、障害者等「多様な人々が集い・交わる場」を創出し、地方創生を先導する「多様性を受け入れるまちづくり」の場を整備する。	こども育成課
06-03-05	出会い機会創出（はーとピー）〔重複〕	婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を実施し、結婚を支援する。また、専任の結婚支援員を置き、希望者には細やかなアフターフォローを行う。	健康増進課



第2期豊岡市地方創生総合戦略

第3版

2021年8月

豊岡市政策調整部政策調整課